

## 水産試験場技術支援事業

### 1 はじめに

技術支援事業は、水産振興に関する技術指導、モニタリング及び研究課題シーズ、ニーズの掘り起こし等を行うため、平成 17 年度からはじまった事業である。

以下に、平成 17、18 年度に実施した取組み内容を示した。

### 2 取組み課題

#### (1) 高鮮度技術支援

平成 17 年度

- ・スラリーアイス製造機器開発業者及び高知工科大学と県西部地域でのシャーベット氷の実証試験の検討を行った。

平成 18 年度

- ・県内企業に対してカツオマグロ冷蔵保管に関して、保管方法や温度測定などの協力を行った。

#### (2) ノコギリガザミ栽培漁業支援

平成 17 年度

- ・高知市漁協、高知市、河川整備課、水産振興課及び中央漁業指導所による放流打ち合わせへ出席し、放流方法について助言した。
- ・高知市漁協の中間育成中、成長等の調査及び飼育方法について助言した。
- ・中央漁業指導所への支援として、須崎市中間育成の生残状況調査を 2 回、直接放流種苗の追跡調査指導と助言を 4 回それぞれ実施した。
- ・宿毛市の豊かな海づくり協会実証試験に用いた種苗の受け入れを支援した（水試で種苗積み替え）。
- ・宿毛漁業指導所及び宿毛市による中間育成から放流追跡調査までの助言及び調査用具の貸し出し等支援を行った。

平成 18 年度

- ・中央漁業指導所への支援として、高知市漁協の中間育成に対して助言した。
- ・中央漁業指導所への支援として、須崎市の中間育成生残状況の調査を 2 回、直接放流種苗の追跡調査指導と助言を 3 回それぞれ実施した。
- ・宿毛市の豊かな海づくり協会実証試験に用いた種苗の受け入れを支援した（水試で種苗積み替え）。
- ・宿毛市内の放流候補地の下見及び環境調査を行った。

#### (3) 養殖指導

平成 17、18 年度

- ・大谷漁協タイ部会に対し養殖技術および経営改善の指導・助言及びマダイ飼育記録を元にした個別指導を中央漁業指導所と共同して行った。
- ・脳の発赤や遊泳異常を伴うブリ不明病に関する聞き取り調査や説明会を実施した。

(4) 赤潮対応

平成 17、18 年度

- ・平成 17 年 7 月 5 日に宿毛湾で有害赤潮が発生した際に、現場での赤潮調査及びプランクトンの同定指導、対応の助言等を行った。

(5) 地域資源

平成 18 年度

- ・以布利漁協定置網からハモサンプル 81 個体を入手。精密測定及び耳石採取を行った。
- ・過去の農林統計、市場統計等の収集、とりまとめを実施した。

(6) 藻場造成支援・分布調査

1) 藻場造成支援

平成 17 年度

- ・海洋部が実施している藻場造成事業への技術支援、現地調査の立会、スポアバッグの提供・設置及び藻場造成に関する全国会議へ出席した。
- ・海洋部実施の藻場造成調査事業の内容をとりまとめて、事業報告に掲載した。
- ・室戸岬東漁業協同組合が主体となって実施している「テングサ実験プロジェクト」への技術的な支援を実施した。

平成 18 年度

- ・海洋部が実施している藻場造成事業への技術支援、現地調査の立会、スポアバッグの提供・設置及び藻場造成に関する全国会議へ出席した。
- ・室戸岬東漁業協同組合が主体となって実施している「テングサ実験プロジェクト」の中間報告会へ出席した。

2) 分布調査

- ・本県沿岸域の藻場分布状況調査を高知大学海洋生物教育施設、(財)黒潮生物研究所の協力を得ながら、3ヶ年程度で実施する。

平成 17 年度

- ・宿毛市、大月町地先海域の調査を実施した。
- ・分布調査結果は「亜熱帯性ホンダワラ属の分布と分類」ワークショップで発表した。

平成 18 年度

- ・宿毛市、大月町及び黒潮町の一部の地先海域の調査を実施した。
- ・調査結果は瀬戸内ブロック生産環境・漁業生産合同部会藻場情報交換会で発表した。
- ・黒潮町地先のカジメ分布調査は高知大学の卒業研究となった。

(7) ヒラメ栽培漁業

平成 17 年度

- ・中央漁業指導所への支援として高知市漁協中間育成状況の調査を行った。
- ・須崎市が実施した中間育成に対して技術的な助言を行った。

平成 18 年度

- ・中央漁業指導所への支援として、高知市漁協の中間育成状況の調査を2回行った。
- ・須崎市が実施した中間育成に関して、技術的な助言を行った。
- ・宿毛市内の放流候補地の環境を調査した。